

高浜市立吉浜小学校



〈2年 国語の授業実践〉



〈久野弘幸先生による講話〉

〈9月13日〉

愛教大准教授の久野弘幸先生を授業研究会にお招きし、指導・助言をいただきました。また、本校で力を入れて取り組んでいるスピーチ・音読の実際についても合わせてご指導していただきました。授業・スピーチ・音読を行う上での心と技について、具体的にお話していただき、たいへん有意義な研究協議会を持つことができました。指導・助言いただいた一部を紹介します。

- ① スピーチでは、質問した方へ顔や体を向け、「自分は～こう思います。」と自分の考えや体験を入れながら、スピーチを返していくことが大切です。また、スピーチでの先生の出方として、次にだれのお尋ねを取り上げるかがポイントで、聞きたいと思っている子をあてていくようにしていきたいです。（5年スピーチの実践より）
- ② 音読の指導では、先生が合図をかけるのではなく、先生がタイトルと作者を読んだ後に音読させていきたいです。特にタイトルの最初の一文字目で勝負することが肝要です。また、音読は思っていた以上によくなっているのでもっと高いものを目指していきたいです。（4年音読の実践より）
- ③ 具体物、動作化を取り入れることはよくありますが、そのことにとらわれて、つかませたいこと（読み取り）から離れてしまうこともあります。具体物、動作化を取り入れることでよりよく読めるようにしていきたいです。（2年国語の実践より）